

2023 年度学校関係者評価委員会報告書

学校評価委員会（自己点検・自己評価）の第一回学校関係者評価を行いました。
その結果を下記のとおり報告します。

1. 学校関係者評価委員会

- ・評価委員……久留米工業大学 教授（学識経験者）
九州大谷短期大学 教授（学識経験者）
筑後市立病院 看護部長（企業等委員：専門分野関係者）
姫野病院 看護師（卒業生：同窓会役員）
学生保護者（PTA：看護科学生保護者）
- ・学校……… 医師会長・学校長
医師会副会長・学校担当理事
副学校長
准看護科 教務主任
看護科 教務主任
事務長
事務次長（進行）

2. 日時：2023年7月28日（金）19：00～20：15
場所：会議室

3. 議題

- 1) 八女筑後看護専門学校 自己点検・自己評価について（副学校長）
これまでの取り組みの経緯について
・准看護科、看護科の自己点検自己評価結果は、ホームページにて公表
- 2) 2022年度学生状況について（副学校長）
- 3) 2022年度准看護科評価結果について（准看護科 教務主任）
・ホームページにて公表
- 4) 2023年度准看護科重点課題について（准看護科 教務主任）
・ホームページにて公表
- 5) 2022年度看護科評価結果について（看護科 教務主任）
・ホームページにて公表
- 6) 2023年度看護科重点課題について（看護科 教務主任）
・ホームページにて公表

7) 意見・質疑応答

質問・意見（評価委員）	回答・意見（学校側）
1) 資料P24P.26 退学・休学・等学生数の動向の「その他」は何を示しているか。	留年からの復学者の人数を示している。
2) 学校の指導が厳しいと聞きます。	指導方法の難しい部分だと考えている。 本校は職業教育のため、就職して困らない教育を行っていきたいと考えている。
3) 病院就職者の大半が大学卒業者で増加した。ただ、精神的に弱い学生が多いと感じる。専門学校教育の方が、しっかり教育されていると考える。 文科省と厚労省の教育カリキュラムの違いも感じる。	
4) 入学者として、新入生や社会人としては、どうなのか。	高卒の新卒者と社会人の割合は半々ぐらいである。年度によって違うが、本校はわりと高校新卒者が多い。
5) 大学も学生確保に苦慮している。工業系では女子学生の募集を強化しているという所もある。看護学校の学生は目的・目標を持っていると思うが、学生減少はどんなことが影響しているか。	看護教育が大学化になっている。 少子化の上に、近郊に大学も増えているためかなり影響を受けている。
6) 大卒と専門学校では就職先に違いがあるのか？大学病院は大卒者が多いが、地域によって様々である。 看護師の就職先も選べる時代となっている。以前のように自分のキャリアを高めるというよりも、自分のプライベートな条件にあった就職先を選んでいる。 自分が何を優先したいかで病院を選んでいる。	
7) 男子学生の割合はどれくらいか。	ここ2～3年増えているが、以前は、一割程度の時もあった。年度によって違う。高校訪問をしているが、景気回復による就職率の高さから今後減少していくのではと考える。

8) 以前は、働きながら通学していた。午前中に仕事をして、午後授業受ける。
今の子どもたちは、大学受験を優先しているように感じる。男子も看護大学へ進学している。勤務先の状況を見ると、個人的には大学卒よりも専門学校を卒業した者がしっかりしている子が多いと感じている。

9) 看護師は文系ですか？理系ですか？

理系と思われがちだが、実は文系思考の人の方が看護師に向いているのではないかと思う。理系という今までの歴史があるので、どちらかといえば理系の人に来ていたと思うが、実は文系の方が、人との触れ合いを大事に考えられると思うし、そのことを文系の志望の子にも話をしていきたいと思っている。